



「野木第二中学校」

生徒会長

中村 都和子
なかむら ともかずこ

野木二中は生徒会スローガンである「自ら動く」を意識し、日々の生活や委員会活動に取り組んでいます。生徒会本部役員では、「自ら動く」をより進化させるために、具体化させることが必要だと考えました。そこで、「自ら敬う」「自ら備える」「自ら徹する」「自ら律する」の意味を込めて「敬備徹律」という四字を掲げました。「敬備徹律」の4つの視点を意識することで、「自ら動く」というスローガンの実現につながり、私たち生徒一人ひとりがより輝くことができると思います。

生徒主体で行事や日常生活を創り上げていくことは、野木二中の伝統であり、魅力です。これからも生徒全員で「自ら動く」の進化につなげていきます。

「輝光祭」

書記

浅見 日果
あさみ ひつか

今年の輝光祭は、金曜日と土曜日の二日にかけて行われました。テーマは「和×日本と世界をつなぐ糸」です。日本、そして世界が、平和の尊さや、人とのつながりを考え直しているということに、「和」が関係していると思います。これからの時代を担う私たちが、「日本」の魅力や「和む」ことの大切さを改めて感じる必要があると考えました。

そこで、テーマに合った学級展示や開閉会式での催しを行いました。また、今年度は新たな取り組みとして、2、3年生が総合の時間に地域の方々からご指導していただいているレザークラフトやグラウンドゴルフ、マンガ、和太鼓、書道の体験コーナーを作り、2、3年生が講師役となり後輩にレクチャーしました。今年は初めてのことが多くありましたが、無事に成功させることができて良かったです。来年のさらなる進化を願っています。

「ビックアート」

三年副会長

伏木 美凌
ふせぎ みなと

野木二中では、毎年秋の輝光祭に合わせて、その年ならではのテーマを決め、六千個の空き缶でビックアートを制作しています。今年は新型コロナウイルスの収束を願って、疫病退散のご利益があると言われている「アマビエ」を制作しました。普段は捨ててしまっている、生徒や先生方で持ち寄り、その缶で制作するビックアートは、野木二中のシンボルとも言える素晴らしい作品です。

「部活動」

二年副会長

石下 葵葉
いしめし ことば

野木二中には、野球部、サッカー部、ソフトテニス部、ハンドボール部、バスケットボール部、バレーボール部、弓道部、卓球部、吹奏楽部、美術・文化部の部活動があり、大会やコンクールに向けて、チームとして個人としてレベルアップできるように日々練習に励んでいます。また、部活に所属せず、クラブチームで活動している生徒もいます。今年はコロナウィルスの影響で当たり前活動できる時間の大切さに気付かされ、今

「あいさつ」

会計

松田 青空
まつだ せうく

野木二中は元気で相手の心に届くさわやかなあいさつを心がけています。しかし、今年度は感染症の流行により、以前と同じようなあいさつをすることが難しくなっています。そこで、野木二中では、声量に代えて、笑顔で相手の心に届くあいさつをすることを意識しながらあいさつ運動を行っています。あいさつ運動とは、毎日が気持ちのよい朝からスタートできるように、そして生徒全員にあいさつへの関心をもってもらえるように実施しています。朝、野木二中の前を通る機会があれば、ぜひ見てください。また、あいさつは社会に出たときのコミュニケーションツール、また大いなる武器になります。なので、これからのような時代でも、気持ちのよいあいさつを心がけていきます。

「運動会」

会計

眞瀬 誠大
まのせ まこと

野木二中の運動会は、赤団、白団、青団に分かれて実施します。今年にはコロナウィルスの影響で種目が少なくなってしまうかもしれません。しかし、生徒全員ができることを精一杯頑張り、本番を迎えられました。運動会当日は、例年に負けないくらい素晴らしい運動会になりました。こんな時だからこそ全員で一つになり、全力で取り組むことができて本当に良かったです。

「自問清掃」

書記

齋藤 桃佳
さいとう ももか

野木二中では、清掃中に会話をせず、自ら考えて動く「自問清掃」を行っています。生徒会スローガンである「自ら動く」を達成するために、この自問清掃では、決められた場所だけではなく、自分で活れているところを探し、時間を有効に使えるように生徒全員が心がけています。今年度は、保健美化委員の呼びかけやプレゼンテーションもあり、清掃へ向かう姿勢の向上が見られたり、三角巾忘れなども減ったりしてきました。今後は、さらなる自問の強化を目指していきます。